

横浜市立

ろう特別支援学校



令和5年度学校便り No. 5

ホームページ : <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/ss/ro/>

「自分の役割って・・・」

暑さ寒さも彼岸までという言葉があるように、やっと9月も終わりごろには朝晩と涼しくなり、過ごしやすさを感じるようになりました。今年の夏は記録的な猛暑日が続き、今まで経験したこともない異常気象で様々なところで災害等が起きていた夏でした。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、夏の高校野球は慶応高校が107年ぶりの優勝を果たし、プロ野球では59年ぶりに関西球団が両リーグ優勝とみなさんの中でもまだ記憶に新しいのではないかと思います。その双方の喜ばしい出来事以上に私の記憶の中に残っているのは、やはり見事世界一に輝き私たちに感動を与えたWBCです。

野球好きの私は、歓喜の優勝から6か月が経ちましたが、今でも録画してあるWBCの名場面、メキシコ戦の逆転サヨナラや優勝が決まった瞬間の場面を繰り返し見えています。(一昔前の表現で言うとテープが擦り切れるぐらい観ています。)サッカーワールドカップの「三苫の1mm」と同様に何度見ても飽きないものです。

映像を観ている中で、ふと、なぜこのチームは優勝できたのか。チームとしてまとまるには何が必要なのか。と思いがよぎり、栗山監督や選手のインタビューの言葉に注目してみました。すると・・・

「選手たちは本当に自分の役割をその場その場でしっかりやり切ってくれた。」

「自分の役割を認識し、全うする姿勢には信頼が集まるのだと感じました。」

「みんながやるべきことやって(役割を果たして)あそこまで(優勝まで)いった。」など

この「役割」という言葉、どの場面にも出てきます。今年優勝した慶応高校の森林監督も優勝後のインタビューの中で・・・

「100人を超える大所帯で、甲子園のベンチに入るのはたった20人。でも、ほかにいろいろな仕事があって、いろいろな役割を全うしてくれた。本当に全員の勝利です」と語っています。

当たり前なことですが、一人一人が持っている力、個性を自分なりに理解把握し、持ち味を生かして役割を果たすことが、大きな目標を成し遂げるにはとても大切であることを教えてくれます。改めて「自分の役割って何?」と考えてみてはどうでしょうか。

副校長 大杉 誠



各部の便りから

ー各学部の取組を、学部便りやクラス便り等からピックアップして紹介しますー

乳幼児教育相談

今年の夏休みを皆さんどのように過ごしましたか？「のんびり家族で過ごしたよ。」「花火を見たよ」「近くのプールに行ったよ。」など、夏休みの様子を記録に書いてお知らせください。楽しみにしています！

夏は脱水や熱中症にも注意が必要です。学校でも、室温の管理やこまめな水分補給に気を付けていきましょう。9月もまだまだ暑そうなので、水遊びを少ししたいなあと思っています。

【乳幼児教育相談 「9月のおたより」より】

幼稚部

まだまだ残暑が厳しい中、お子さんたちは汗だくになりながらも元気いっぱい遊んでいます。

9月は季節が徐々に変わっていきます。朝晩は涼しい日が増えたり、気候に合わせて服装が変化したり、空の色や日が落ちる時間、園庭や公園で見られる虫が変わったりします。セミもいつの間にか声をひそめるようになりました。意識していないと自然と過ぎ去ってしまうような変化ですが、今しか味わえない出来事ですのでぜひお子さんとやりとりをしてみてください。今すべてを理解する必要はありません。季節の変化と一緒に経験してやりとりすることが大切です。

また、秋は季節の行事もたくさんあります。敬老の日に向けた製作では日頃の感謝を込めて、おじいちゃんおばあちゃんに立派なプレゼントを作っていました。22日（金）にはお月見会を行い、26日（月）には秋の遠足でソレイユの丘に行きます。ご家庭でもぜひさまざまな秋をお子さんと一緒に感じてみてください。満月の後は月が欠けていく様子もぜひお子さんと一緒に観察してみてください。

【幼稚部3年「たんぽぽつうしん」より】（毎回学年・クラスを変えて紹介します）

小学部

前期の後半がスタートしました。今年は、久々の行動制限のない夏休みとなり、子どもたちも様々な経験ができたようです。教室では、どこに行ったとか何をしたとか楽しい話で盛り上がっていました。夏休みの思い出とともに、一回り大きくなり、日焼けをしてたくましくなった姿に成長を感じました。

夏休みの宿題

それぞれの学年で出された夏休みの宿題を通して、いつも以上に親子でたくさんかかわる時間をもてたことと思います。また課題の理解状況や苦手な部分など、お子さんの学習状況をつかむことができたのではないのでしょうか。9月は前期のまとめの時期になります。夏休み中に見つけた課題を今後につなげていただけたらと思います



言語発表会

9月8日（金）に言語発表会が行われます。今年度のテーマは「いきもの」です。多目的ホールで発表を行います。当日の保護者の参観はできませんが、後日振り返りの際に参観していただけたらと思います。振り返りは、各クラスの自立活動の時間を使って行います。

【「小学部だより」より】

通級指導教室

～ つうきゅう 青空に虹 ～

毎年、通級（小学生）では作品制作に取り組んでいます。今年度は、お楽しみ会の後の時間を使って参加者全員で「青空」制作に取り組めます。お楽しみ会の日に、雨上がりの夏空のような素晴らしい青空をスプレーで色付けしました。これから青空の上に、見る人に元気や勇気を分けてあげられるよう、みんなでイラストや折り紙などを貼り「虹」を作っていきたいと思っています。

できあがった作品は、ろう特別支援学校のときわ祭で展示する予定です。展示した後は、通級教室の廊下に掲示し、本校の児童生徒にも鑑賞してもらいたいと思います。一人一人の個性が織りなす虹がどのような美しいものになるのか今から楽しみです。

【通級指導教室便り「たけのこ」（小学生版）より】

中学部

夏休み学習支援

7月の学部だより等でお知らせしたとおり、夏休み学習支援を行いました。自宅では、なかなか学習に取り組むことが難しい生徒もいますが、友達が一生懸命学習に取り組んでいる姿を見ると、切れた集中力を戻すことができるようでした。水泳支援は、天候の状態もあり、1度だけの開催でしたが、普段の授業ではなかなか気付かなかったことも細かく確認していました。

3年職場体験が終わりました

今年は7月下旬～9月中旬に、3日間の職場体験を行いました。福祉事業所や企業、公共施設、スポーツ施設などで職場体験を行いました。報告会では、各自が体験先で学んだことを、「仕事内容」「仕事で大変だったこと・がんばったこと」「1・2年生へアドバイス」などの項目ごとにまとめて発表しました。「1・2年生へのアドバイス」で特に強調されていたのは、「あいさつ」「返事」「ほうれんそう（報連相）」でした。「普段の学校生活で取り組むことが大事」と振り返った生徒もいました。3日間という短い間でしたが、体験を通して多くのことを学ぶことができましたようです。実際に社会へ出るのはまだ先ですが、将来に向けてどのような力を身に付けておくことが大切なのか分かったと思います。それらを今後の生活や学習に生かしてほしいと思います。

【「中学部だより」より】

高等部

職場体験実習報告会

9月6日（水）の5・6時間目に、2年生の職場体験実習報告会がありました。総合学習の授業の一環として、2年生は夏休み中に職場体験実習をすることになっています。実際に職場体験実習をしてみて、「働く意義について考えるきっかけになった」「仕事が楽しかった」「責任を感じた」といった数々の感想がありました。職場体験実習を通して、気付いた反省や課題についてまとめてみました。

身だしなみへの意識	メモをとる習慣	あいさつを丁寧にしっかり行う習慣
短い言葉で簡潔に伝える力	積極的なコミュニケーション	体の使い方や姿勢
場面にあった適度な休憩	丁寧な言葉遣い	始まりと終わりへの意識（勤務時間）
体調管理・健康管理	集中して取り組む態度	時間配分を考える力

上記の反省や課題の中から、みなさんに考えてもらいたいことがあります。それは「タイミング」です。報告・連絡・相談は仕事をしていく上で大切なことですが、そのタイミングが難しいといわれています。きこえる人でも判断に悩むことがあります。音声情報が限られている聴覚障害者にとっては、判断するための材料がより少ないため、いつ上司や同僚に声をかければいいのか分かりません。例えば、きこえる人は相手の声の質や調子から機嫌の良さをうかがうことができますが、聴覚障害者はどうやって相手の機嫌の良さを知のでしょうか。（表情や動作の少ない上司だったら尚更ですね…）このように、音声情報が限られているため、タイミングを図ることが難しい・判断に悩むという聴覚障害者が多いときいています。

そこで、2つの事例を取り上げて紹介していきます。タイミングの取り方について考えてみましょう。1つ目は、メモをとるときのタイミングです。上司や同僚の口の形や手振り、手話を見ながら、メモすることはとても難しいことです。（きこえる人の場合、“耳”で音声情報を集めながら、メモ帳の内容や位置を“目”で確認しながら書いています。）もし職場で受けている説明が長く、しかも、重要な内容が次から次へと出されている場合、あなたはどのようにしてメモを取りますか。最後までしっかり聞いて後にメモとしてまとめる方法もあれば、話を中断させて「すみません。メモをとりたいので、時間をいただけますか。」と伝える方法もあります。その場合、説明を受けながらメモをとることが難しい理由を述べなければならぬと思います。説明できるかどうか考えてみてください。また、他によい方法がないか考えてみるのも良いでしょう。

2つ目は、報告のタイミングです。至急、上司に報告しなければならないことが発生したが、上司が他の人と長い話をしていた場合を想定してみてください。その話の内容が重要な内容なのか、それとも、単なる雑談なのか、内容を聞き取って判断することができますか。きこえる人の場合、話をしている内容が雑談であれば、「すみません、話してもよろしいでしょうか」と話を中断させようとするでしょう。しかし、



聴覚障害者の場合、話の内容を把握できないため、判断することができません。もし上司と他の人が緊急度の高い重要な話し合いをしていた場合、それに割って入ることになり、失礼にあたります。どうすればいいのでしょうか。解決策の1つとして、「緊急の報告があります」という簡潔な内容のメモを上司の見える位置において渡す方法が考えられます。そうすることで、上司の判断に委ねることができます。そのときに求められるのは、要点を伝える力です。

これらのことは学校で学ぶ機会も多くありません。職場体験や実習などで働いていく中で、自分で気づき、考えていくものだと思います。進路担当が「会社のことを考える機会は少ない。だから、しっかり考えてほしい。」と言っていたのは、そういう意味です。「進学希望だから関係ない」「与えられた仕事をこなせばいい」のではなく、自分事だと思って取り組んでいきましょう。職場見学や体験、実習などを受け入れてくれる方々に、感謝の気持ちをもって臨みましょう。

【「高等部だより」より】

		10月の行事	PTA
1	日	全国聾学校陸上競技大会(熊谷)	
2	月	幼稚部:手話勉強会	
3	火	中学部:評議会 高等部:生徒会選挙	PTA成人委員会
4	水	中学部説明会 高等部:全学年合同自活	
5	木	臨床相談 幼:交流 中学部:関東聾学校卓球大会(~6日:駒沢)	
6	金	前期終業式 幼・小:11:00下校 中・高:11:30下校 中・高:英語検定②一次	
7	土		
8	日		
9	月	スポーツの日	
10	火	後期始業式 幼:13:30下校 小:13:30下校 中・高:13:40下校	
11	水	学校運営協議会 幼稚部:発音検査 中学部:保土中部活交流	
12	木	歯科検診 中学部:携帯安全教室 通級:保護者懇談会	
13	金	幼3:青葉幼稚園交流 小学部:秋の遠足 中・高:漢字検定	
14	土		
15	日		
16	月	教育実習(中学部:27日まで) 幼:ときわ祭の話、保護者講座	
17	火	幼稚部:交流 小学部:IUI 高等部:日検検定	PTA運営・推薦委員会
18	水	幼稚部:身体計測	
19	木	歯みがき指導 小学部説明会(外部) 高等部:委員会	
20	金	高等部:評議会	
21	土		
22	日		
23	月	幼稚部:誕生会 小中高連絡会	
24	火	金曜校時	PTAヨガ教室
25	水	中高:読字力検定 中3:進路面談	
26	木	歯みがき指導 幼:交流 中:保土中祭見学 通級:耳鼻科臨床指導	
27	金	高1・2:福祉体験 高3:思春期講座	虹の会「しゅわろう」
28	土	高等部入学希望者説明会	
29	日		
30	月	ときわ祭特別時間割開始	
31	火		

お知らせ

【全国大会出場】

陸上部、卓球部で関東大会を勝ち進んだ選手たちが、全国大会に出場します。全国聾学校陸上競技大会は、9月30日(土)～10月1日(日)熊谷で、全国聾学校卓球大会は、11月3日(金)～5日(日)名古屋で開催されます。参加する選手の皆さんの活躍を期待しています。また、応援もよろしくお願いいたします。

【前期終了です】

10月第一週で前期が終了します。終業日には、前期の学習活動の様子をお伝えする「おたより」「あゆみ」「連絡票」をお渡しします。後期へ学習意欲をつないでいくために活用していただければと思います。